

悪の華

悪堕ちSkebまとめ vol.1



R18

Adult Only
成人向け

本編合計：29枚

差分合計：40枚 総合計69枚

サークル：夢見町3丁目。

毎日お勉強の繰り返し…

将来のためとはいえ…
少し……窮屈な気分になりますわね…

自由になりたい…

ナラバ……我ニ……ヲ……捧ゲヨ……

…誰です!?

神聖な城内……に…?

確かに声が…
この中から……?

剣…？

これは……!?

……ッ
は、離れなさい…!!

我ヲ
受ケ入レヨ…
我ハ……

才前ノ求メル
自由ヲ
与エテヤル…

そんなの…
無理に決まって…

無理…？
トテモ簡単ナ話ダ………

サア…
我ニ血ヲ……

くそっ……!!

王女様……!

目を覚まして
ください…!!

素晴らしいですわ……

本当に簡単に
自由を得ることが出来ました……♡

えめ……

もっと
血を
捧げなくては……♡



今にして思えば
幼い頃から窮屈さを感じていたのかもしれない。

王女として、正しき象徴として。

周囲の期待を勉強、礼儀作法、身だしなみ……
様々な形で詰め込まれた。

それは当然のことと、期待に応え続けていたのに……。

——あの剣の言葉に耳を貸してしまった。
自由を与えてやるというあの魔剣に。

そして剣から溢れた闇の力にのまれた直後
私は……私自身と向き合うことになる。

「魔剣に耳を貸したこと、後悔しているのかしら？」

「……」

魔剣が生み出したであろう、自分の幻影は私の心に触れてくる。

「魔剣が生み出した？違う、私はあなたがずっと押し殺してきたあなた自身」
「私……」

私自身が押し殺した私。

その姿は恐らく——未来の、魔剣を手にした私。
そうであれば……やっぱり……



「……後悔はありませんわ」

自分自身の幻影、或いは……本当に私自身だったのか。
彼女は私の言葉で、ニイ、と笑う。

「今までの自分を、生活を壊して
そんなに素晴らしい自由を得ることが出来るなんて……」

「そうでしょう、あなたは私自身なのですからわかります。」

「なんて素晴らしいことなのかしら」

「さあ、剣に感謝と血を捧げなければ……」

精神世界で自分自身に堕とされるようなのも好きだけど既に手遅れだったりするのも好きなんですよねっていうやつ

生徒会長がヒロインを庇って…

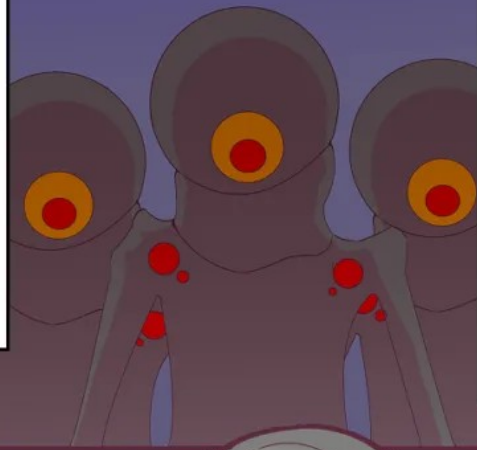
満月の日に
すべてを浄化する「月の雫」



彼らの目的は地球の支配
唯一の希望は空からの贈り物

それに「種」を植え付けられた者は
彼らの手足となってしまふ。

突如地球に現れた存在「イーヴア」
それはあらゆる生命体に影響を及ぼし



そして…
今その希望は…



月の雫をナギが持つてること
気付かれたみたいね…



弱気になっちゃだめよ
私達で世界を…

会長…私達
あいつらに捕まっちゃうのかな…





行動
再設定

捕縛 失敗
月の雫 獲得 失敗

—会長…必ず…
満月の日に…迎えに来ます…!!



捕縛個体を
月の雫獲得の鍵と判断
種の植え込みを開始



!?

対象の左腕に接続
種の注入……成功

不要物の除去と最適化の開始

—これが種の植え込み…?
痛みはないけど……刺されたところから
何かが巡って気持ち悪い……!

私は会長だから……
生徒を……ナギを守るためなら……こんなもの……

耐えて見せる……!

研究対象『感情』を確認
除去……失敗

『思考』のパラダイムシフト実行……成功

捕縛個体の変質開始

あれ……でもなんで我慢をしなくちゃいけないんだっけ……?
私は……ナギは……なんで……

うっ……

あ、そうだ

あの石があるからいけなかったんだ

会長……
なんで……そんな……

こんな石なんてなければ

よかった……
あなたなら……

あえて学校に残って隠れているだろうと
思っていたの……

でもそれももう終わり

パチッ

捕まってる間に
考えたんだけど……

これで

私達が逃げ隠れする必要はなかったの

私達は
もう自由ね♡

にっ



連鎖堕ちifその1

北川稔

月の雫が消滅したって
噂は本当なのか…!!

知らねえよ……!
くそ……もう満月なのに……!

うわっ…!?

ドゴッ

やつらだ
逃げろお…!

あはははは!

ねえいいんちよ!
人のわめく声って
可愛いね!

もう委員長じゃない

そうでしたっけ?

……でも

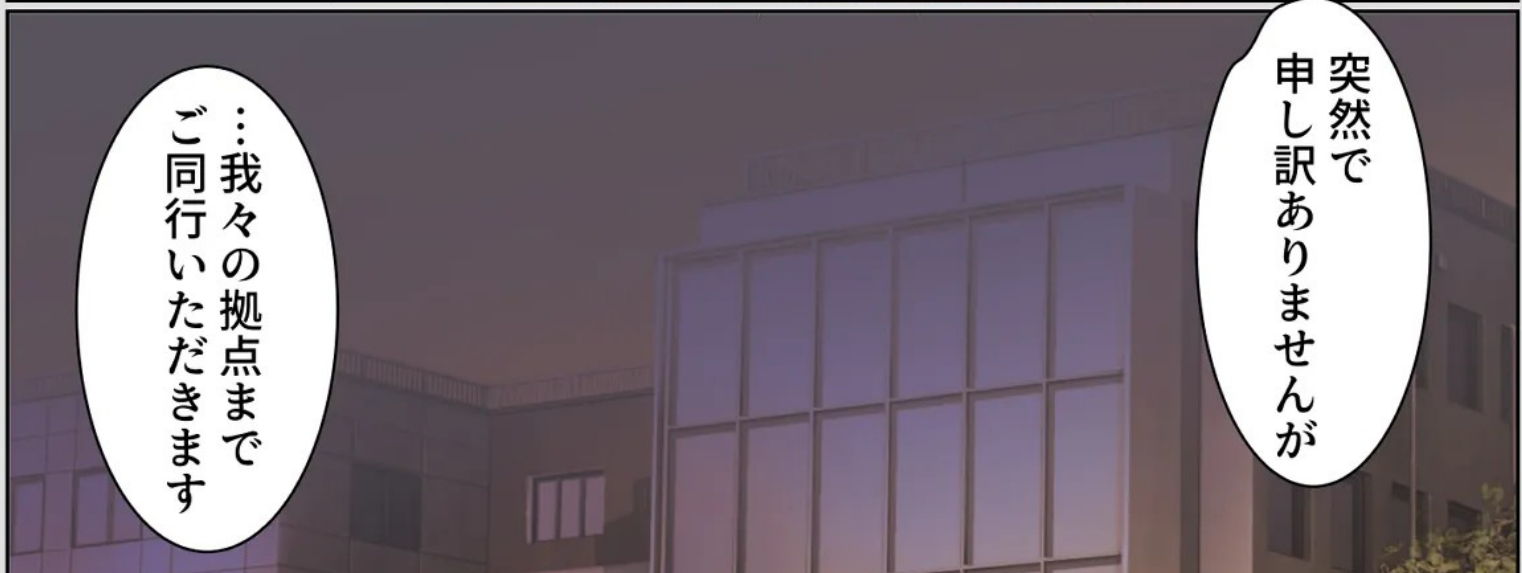
皆の悲鳴が可愛いのは同意よ

下..

いっぱい楽しんで
仲間を増やしましょう、ナギ

はぁーい♡

ヒロインのママ悪堕ち





貴方の娘…アルブフィリアには
手を焼いていましてね…

アルブフィリア…?
娘が…?

何を…いッ…!?

4hッ!



私を
どうする気なの…!?

コポ…

コポ…

ご安心を

危害を加える
つもりはありません



母親である貴方の力を

貸していただきたい

トシッ

ひっ…!?

それから私は――

彼らの作った「調整薬」を
数度に分け投薬され……

徹底的に彼らの理念、目的――

それがいかに
素晴らしいものを
教えていただき……

調整は終了です
貴方は生まれ変わった

……気分はどうです？

そして――

カシヤ……

……♪

倒せた…けど…

今回の敵…
今までと違う…？

ハァ…

ハァ！

まるで…私の
性格を把握して
いるような…？

コッ…

流石は私の娘
一筋縄では
いかないようね

ママ…!!?
どうして…？

どうして…？
あなたこそ組織の
崇高な理念を理解できないなんて…

…そんな…

でもすぐに
理解させてあげる

母親として…
あなたの愚かさを、ね

フッ

「いってらっしやい、気を付けるのよ」
「うん……ママも……。」

あの後、私の魔法でママは元に戻った。

元に戻ったママは組織のことも、
自分が幹部になっていたことも覚えていなかった。

「ママも……？」

これでいいんだ……私の力でママを守っている限りは……
また日常が戻ってくるんだから……。

「ううん、なんでもない」



『いってきます』

「.....あ.....?」

ドン、

「……ママ？大丈夫？」

覚えていなくても改造されていた体は本調子じゃないのだろうか…

「お家に戻ってゆつくり休んでね」



「……………ええ、そうするわ、いつてらっしゃい」

その言葉を聞いた私は安心し、家を後にした。

「.....」



「キーワードによる記憶の再構築に成功…。」

フッ..

「これより再度、アルブフィリアを
無力化するための作戦行動を開始します。」



堕ちた後に日常に戻されたが
後々何気ないワードで再度堕ちるifママ

緊急速報です
△△町に
怪人が出現

近隣住民の方は
決して家から
出ないでください

繰り返します…

あなた…

そんな顔をするな
君が待っているんだ

必ず無事に帰ってくるよ

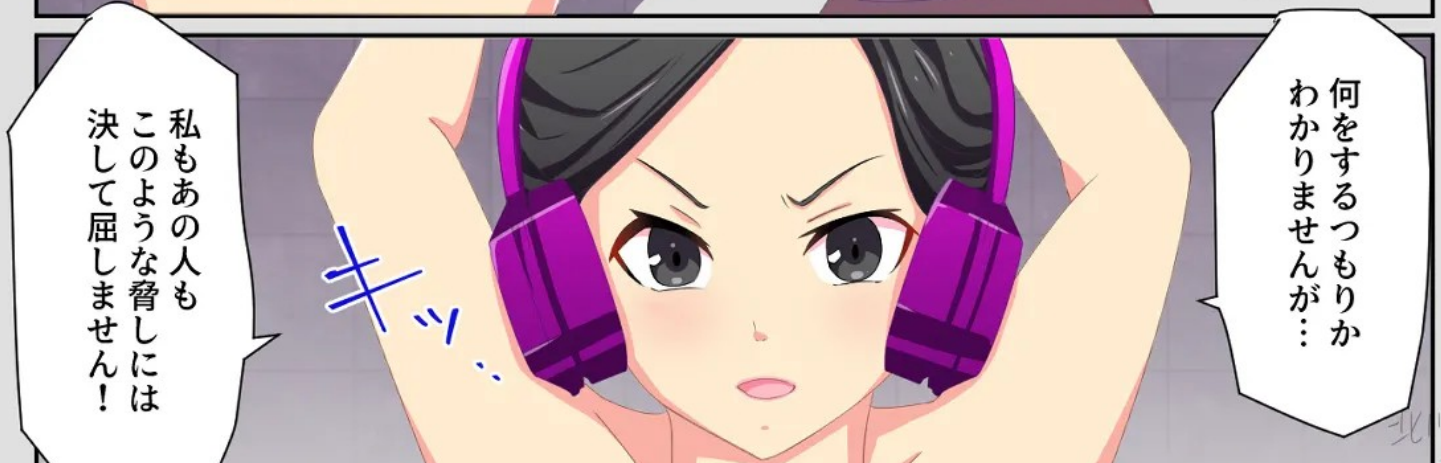
ええ…そうですね…
貴方を信じて
お待ちしております…

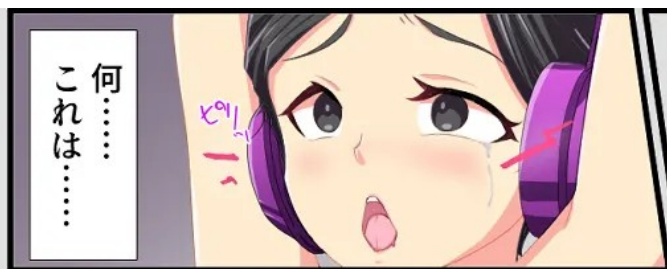
夫は町の怪人と戦う
ヒーロー『ルベルユステイ』

彼の正体を知っているのは私だけ
…彼を支えることが出来るのも…

ようやく…
見つけた…

古風な人妻が堕ちて改造された後に
元の姿で家に戻るやつ





何……
これは……

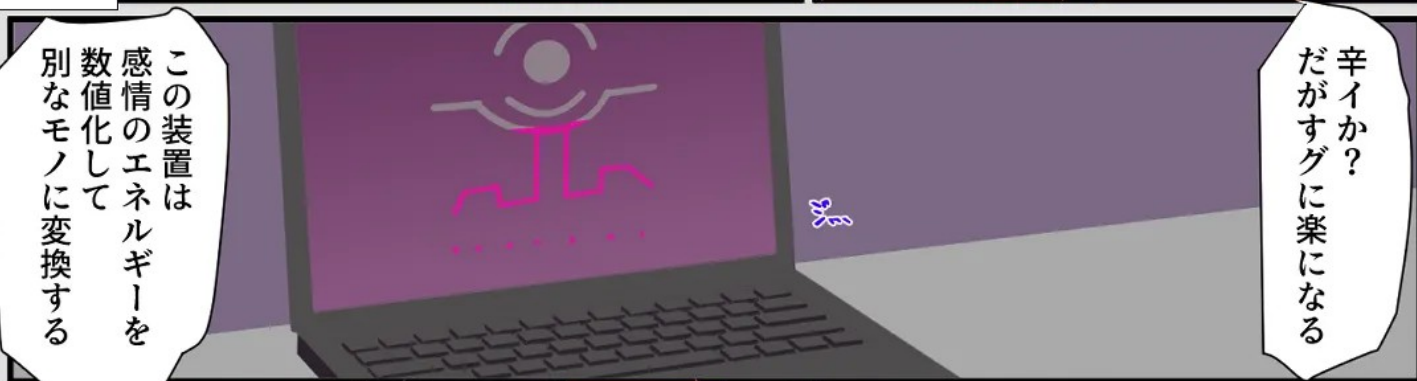


おおおおお!

接続……された装置から……
何かが流されて……



私を書き換えているような……!



辛いかな？
だがすぐに楽になる

この装置は
感情のエネルギーを
数値化して
別なモノに変換する



やっ、
そっ……

例えば愛とやらを
我々への忠誠心にね……

本人、装備ともに
調整完了です。

はい

ご苦労…
お前の名前と役割を
言ってみルがいい

私の名はラウルスマルム
これより組織のために…

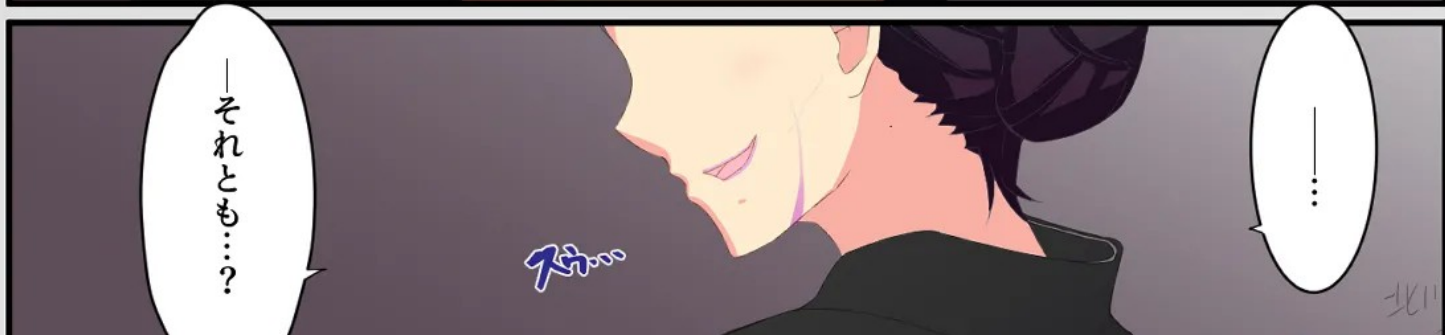
ルベルユステイを討つために
行動を開始いたします

よろしい

ではラウルスマルム

さっそくお前に…
お前にシカ出来ない任務だ…





「それとも私」ルート



ウェディング×悪堕ち1



ウェディング×悪堕ち2





